

# アマサイ ツーエツ

天ヶ瀬ダム再開発事業通信

Vol. 04  
2015.09

日本初！

困難な現場を支える最新技術！

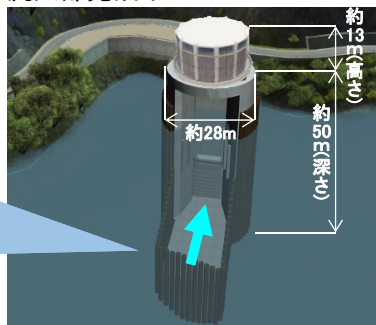


# 流入部の工事を支える最新技術を紹介します！

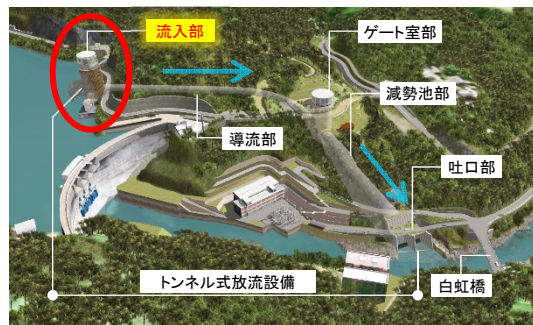
## 流入部の工事

流入部の建設には、水深40mもあるダム湖の底の掘削など、困難な作業が要求されます。従来はダイバーなど、人力での作業が主流で大きな危険がともなう仕事でした。

流入部完成イメージ



今回は流入部に注目します



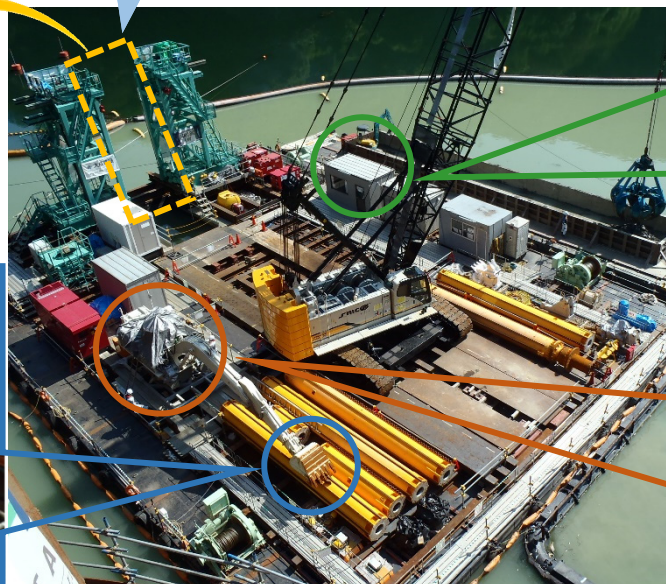
## T-iROBO UW

取材に行った時は、運悪く一時的な解体中...本来ならこうなっています。

T-iROBO UWとは・・・簡単に言うと「水中作業機」です！

今までの水中掘削とは異なり、地上での完全な遠隔操作が可能になりました。これにより今までの課題であった工期の短縮・作業の安全性の向上が達成されます。

この間からオーガという柱を湖底に突きさし、その柱を機械が上下します。

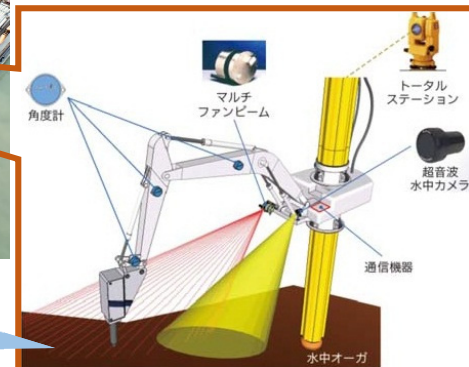


実際の操作席です。遠隔操作は難しいそうです...



作業機の先端は作業に応じたアタッチメントに付け替えが可能です。

水中の視界はわずか30cmほど...作業員は様々な情報を頼りにT-iROBOを操作します。



画像提供: 大成建設(株)

## 掘削工事の流れ

岩盤の掘削(T-iROBO) → 先端をショベルに付け替え、砕いた岩の集積 → クレーンで砕いた岩を引き上げる

(1サイクルが2週間ほど)

### 編集後記

今回インターンシップで琵琶湖河川事務所に配属され、この記事を書きました。様々な資料を読み、実際に現場に伺いました。当時はクレーンで岩を引き上げているところで、T-iROBOは一時的に解体されていましたが、大成建設の矢部さんに話を伺うことができ、操作の難しさ、設備の仕組み、導入に至る経緯などを聞くことができ、貴重な経験になりました。また機会があればアマサイについてもっと学びたいと思います！



※本号は琵琶湖河川事務所に2週間、インターンシップに来た実習生が作成しました。

工事箇所周辺道路の通行規制等を行なっています。詳しくはHPをご覧ください。

<http://biwakokasen.go.jp/info/constinf/index.html>

『魅せる!現場』やっています!

詳しくは近畿地方整備局HP『魅せる!現場』内をご覧ください。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/genbakengaku/index.html>

発行 |



国土交通省 近畿地方整備局  
琵琶湖河川事務所

〒520-2279 滋賀県大津市黒津4丁目5-1

TEL : 077-546-0844

<http://www.biwakokasen.go.jp/>

